

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		台東区映像アーカイブ				所管	教育委員会 生涯学習課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	44	計画事業名	台東区映像アーカイブ			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出					事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (1)文化の継承と発展					[事業開始]	平成 20 年度	
		[施 策] ①文化の検証と保存、活用 [17]					[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし				
	事業対象	一般区民							
	事業目的	区民等が記録した台東区に関連する貴重な映像の発掘・保存・活用							
	事業内容	区民が所有する台東区に関連する貴重な映像フィルムを募集し借用する。借用したフィルムは修復を行った上でデジタル化する。デジタル化した記録を編集し、広く区民等に公開する。 また、写真家須賀一氏より寄贈を受けた写真のデジタル化及び公開を行う。							
委託の有無	一部委託		委託内容	フィルムのデジタル化					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	収集映像資料 本		300	185	231	251		
		利用人数(延べ) 人		600	454	444	299		
	決算額 (単位：千円)					6,330	7,288	6,619	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)		6,712		5,618	6,591		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)		2,319		3,272	2,585		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)		0		0	0		
		総経費		9,031		8,890	9,176		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)		0		0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)		421		430	436		
一般財源 (区負担額)		8,610		8,459	8,740				
前年度から改善した事項	広報紙や区政情報モニターなどを利用し、幅広い周知活動を行った。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	フィルムの劣化や、映写機老朽化により映像資料の喪失の恐れが高まっている現在、映像資料の発掘・保存の必要性は高い。						
	効率性	3	フィルムの修復を含めた資料のデジタル化を効率的に行った。アーカイブの拡大に向け、今後もコストや効率化を踏まえた事業展開を行う。						
	手段の適切性	3	資料の収集及びデジタル化を進め、台東区映像アーカイブ、須賀一コレクションを開設し、図書館やパネル展などで公開を行っている。公開資料の充実に向け、今後も事業効果を踏まえた事業展開を行う。						
	目的達成度	1	アーカイブ作品の図書館、生涯学習課での利用人数は目標数に達しなかった。現在は一部のアーカイブ作品をホームページで公開するなど、区民へ周知を図っており、今後も、利用者が増加するよう取り組んでいく。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
散逸や劣化の恐れのある映像フィルムの収集、デジタル化を引き続き進めていく。						維持			